

令和 8 年 7 月 2 1 日
相模原市発表資料

令和 8 年上半期(1 月～6 月)における市内の火災及び救急の概要について

令和 8 年上半期(1 月～6 月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要

1 1 5 件(前年同期比 9 件増)の火災が発生し、死者は、1 人(前年同期比 3 人減)、負傷者は、1 5 人(前年同期比 1 0 人減)です。

出火原因等の詳細は、別紙 1 のとおりです。

2 救急の概要

救急出場件数は、2 0, 9 7 7 件(前年同期比 1, 2 9 9 件減)、搬送人員は、1 7, 9 5 7 人(前年同期比 9 4 1 人減)で、共に減少となりました。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙 2 のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部 予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部 救急課(救急関係)

042-751-9142

令和 8 年上半期（1 月～ 6 月）における火災の概要（速報値）

令和 8 年上半期（1 月～ 6 月）に市内で 1 1 5 件の火災が発生しました。火災による死者は 1 人で、負傷者は 1 5 人です。

1 火災の発生状況

（1）火災件数は、前年同期と比べ 9 件増加

火災件数は 1 1 5 件で、前年同期と比べ 9 件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年同期と比べ建物火災は 5 7 件で 1 件増加、林野火災は 7 件で 7 件増加、車両火災は 4 件で 8 件減少、その他の火災は 4 7 件で 9 件増加となっています。

（2）出火原因の第 1 位は「放火（「放火の疑い」を含み、以下同じ。）」、続いて「たばこ」、「電気機器」、「配線器具」、「ストーブ」

全火災の出火原因順位としては、「放火」の 3 5 件（3 0 . 4 %）が最も多く、「たばこ」 1 2 件（1 0 . 4 %）、「電気機器」 8 件（7 . 0 %）、「配線器具」 7 件（6 . 1 %）、「ストーブ」 6 件（5 . 2 %）と続いています。

（3）火災による死者は前年同期と比べ 3 人減少、負傷者は 1 0 人減少

火災による死者は 1 人で、前年同期と比べ 3 人減少しています。

火災種別ごとに見ると、建物火災により亡くなりました。

火災による負傷者は 1 5 人で、前年同期と比べ 1 0 人減少しています。

（4）前年同期と比べ建物焼損棟数は増加、焼損面積及び損害額は減少

焼損棟数は 9 0 棟で、前年同期と比べ 6 棟増加しています。

建物の焼損面積は 1 , 6 1 7 m²で、前年同期と比べ 2 , 0 0 8 m²減少しています。

損害額は 4 , 9 5 4 万 5 千円となっており、前年同期に比べ 8 , 5 9 0 万 4 千円減少しています。

2 火災概況（前年同期比）

項 目			令和 8 年上半期	令和 7 年上半期	増 減
合 計 (件数)			115	106	9
火災種別	建物	件 数	57	56	1
		面積(m²)	1,617	3,625	△2,008
	林野	件 数	7	0	7
		面積(a)	9	0	9
	車 両		4	12	△8
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	47	38	9
		面積(m²)	20,430	4,439	15,991
原因別	失 火(構成比)		68 (59.1%)	83 (78.3%)	△15
	放 火(構成比)		35 (30.4%)	8 (7.5%)	27
	不 明(構成比)		12 (10.4%)	15 (14.2%)	△3
焼 損 棟 数			90	84	6
り 災 世 帯			75	72	3
り 災 人 員			174	153	21
死 者			1	4	△3
負 傷 者			15	25	△10
損 害 額 (千円)			49,545	135,449	△85,904

* 構成比は、小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

3 出火原因（前年同期比）

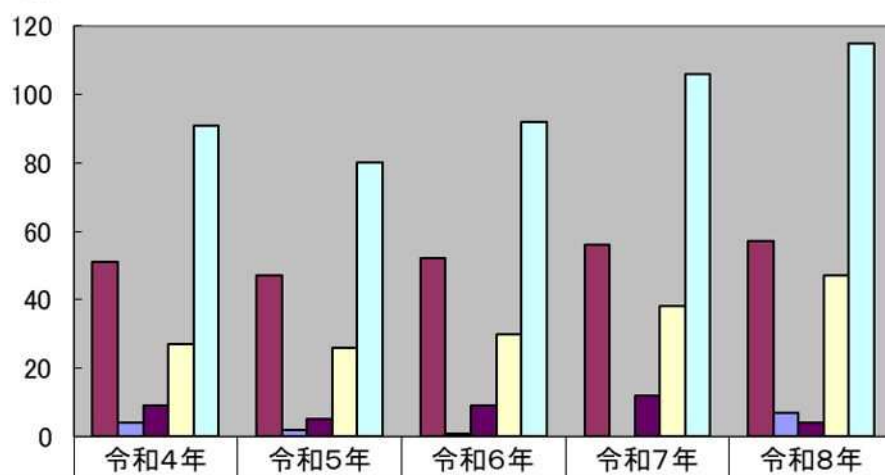
令和 8 年上半期 115 件			令和 7 年上半期 106 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	放 火	35 (30.4%)	1	こ ん ろ	12 (11.3%)
2	た ば こ	12 (10.4%)	2	た ば こ	10 (9.4%)
3	電 気 機 器	8 (7.0%)	3	電 気 機 器	9 (8.5%)
4	配 線 器 具	7 (6.1%)	4	ス ト ー ブ	8 (7.5%)
5	ス ト ー ブ	6 (5.2%)	5	電灯・電話等の配線	7 (6.6%)
そ の 他		47 (40.9%)	そ の 他		60 (56.6%)

* 括弧内は、合計件数における構成比

* 構成比は、小数点第2位を四捨五入

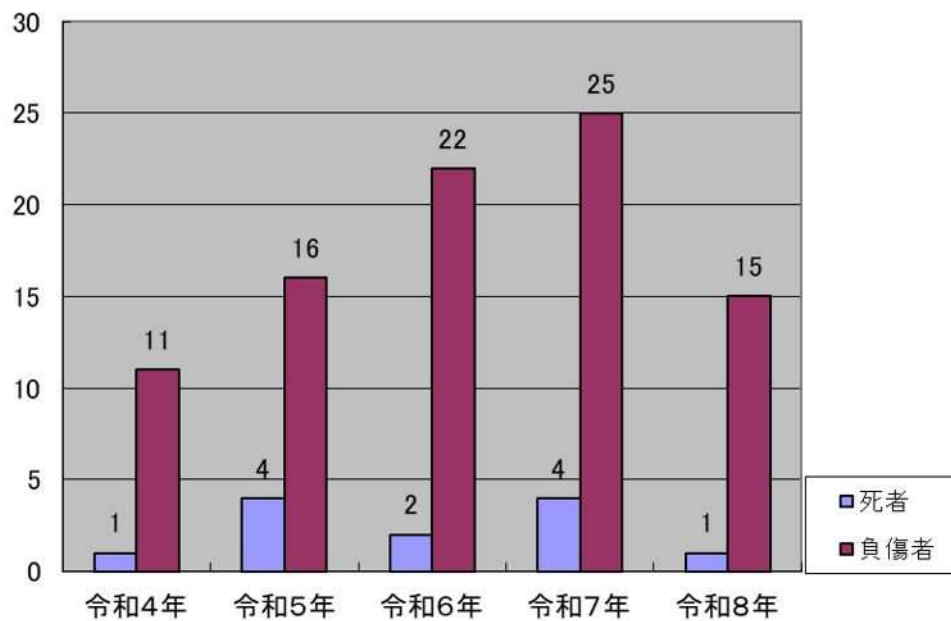
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

(件) 過去5年 火災件数(上半期)



	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
建物	51	47	52	56	57
林野	4	2	1	0	7
車両	9	5	9	12	4
その他	27	26	30	38	47
合計	91	80	92	106	115

(人) 過去5年 火災に伴う死傷者数(上半期)



令和 8 年上半期(1 月～ 6 月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は 20, 977 件、搬送人員は 17, 957 人で、
共に減少となりました。

1 救急業務の実施状況**(1) 救急出場件数は前年同期と比べ 1, 299 件減少**

令和 8 年上半期の救急出場件数は 20, 977 件、搬送人員は 17, 957 人で、前年同期と比べ救急出場件数は 1, 299 件、搬送人員は 941 人減少となりました。

(2) 救急出場の事故種別の第 1 位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」の 14, 181 件(67. 6%)が最も多く、「一般負傷」3, 059 件(14. 6%)、「転院搬送」1, 530 件(7. 3%)、「交通事故」1, 138 件(5. 4%)と続いています。

(3) 65 歳以上の高齢者の搬送割合は前年同期と比べ 0. 3 ポイント減

65 歳以上の高齢者の搬送人員は、10, 560 人(前年同期比 600 人減)で、全体の搬送人員の 58. 8%(前年同期比 0. 3 ポイント減)となっています。

(4) 軽症者の搬送人員の割合は、前年同期と比べ 2. 2 ポイント減

軽症者の搬送人員は、8, 677 人(前年同期比 871 人減)で、全体の搬送人員の 48. 3%(前年同期比 2. 2 ポイント減)となっています。

2 救急概要

事 故 種 別 区 分		令和8年上半期	令和7年上半期	増減(C)	増減率(%)	
		(A)	(B)	(A-B)	(C/B×100)	
救急出場件数		20,977	22,276	△1,299	△5.8%	
傷病者搬送件数		17,885	18,806	△921	△4.9%	
不 搬 送 件 数		3,092	3,470	△378	△10.9%	
事 故 種 別 内 訳	火 災	51 (0.2%)	71 (0.3%)	△20	△28.2%	
	自 然 災 害	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0	0.0%	
	水 難	3 (0.0%)	4 (0.0%)	△1	△25.0%	
	交 通	1,138 (5.4%)	1,124 (5.0%)	14	1.2%	
	労 働 災 害	128 (0.6%)	140 (0.6%)	△12	△8.6%	
	運 動 競 技	108 (0.5%)	124 (0.6%)	△16	△12.9%	
	一 般 負 傷	3,059 (14.6%)	3,201 (14.4%)	△142	△4.4%	
	加 害	89 (0.4%)	86 (0.4%)	3	3.5%	
	自 損 行 為	239 (1.1%)	216 (1.0%)	23	10.6%	
	急 病	14,181 (67.6%)	15,180 (68.1%)	△999	△6.6%	
	そ の 他	転院搬送	1,530 (7.3%)	1,593 (7.2%)	△63	△4.0%
		医師搬送	1 (0.0%)	4 (0.0%)	△3	△75.0%
		資材搬送	2 (0.0%)	0 (0.0%)	2	—
その他		448 (2.1%)	533 (2.4%)	△85	△15.9%	
搬 送 人 員		17,957	18,898	△941	△5.0%	
性 別	男 性	9,205	9,635	△430	△4.5%	
	女 性	8,752	9,263	△511	△5.5%	
程 度 別	死 亡	94 (0.5%)	113 (0.6%)	△19	△16.8%	
	重 症	1,574 (8.8%)	1,546 (8.2%)	28	1.8%	
	中 等 症	7,611 (42.4%)	7,690 (40.7%)	△79	△1.0%	
	軽 症	8,677 (48.3%)	9,548 (50.5%)	△871	△9.1%	
	そ の 他	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0	0.0%	
活 動	ドクターカー使用	19	34	△15	△44.1%	
	ドクターヘリ使用	4	7	△3	△42.9%	

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 事故種別内訳の括弧内は、救急出場件数に対する割合

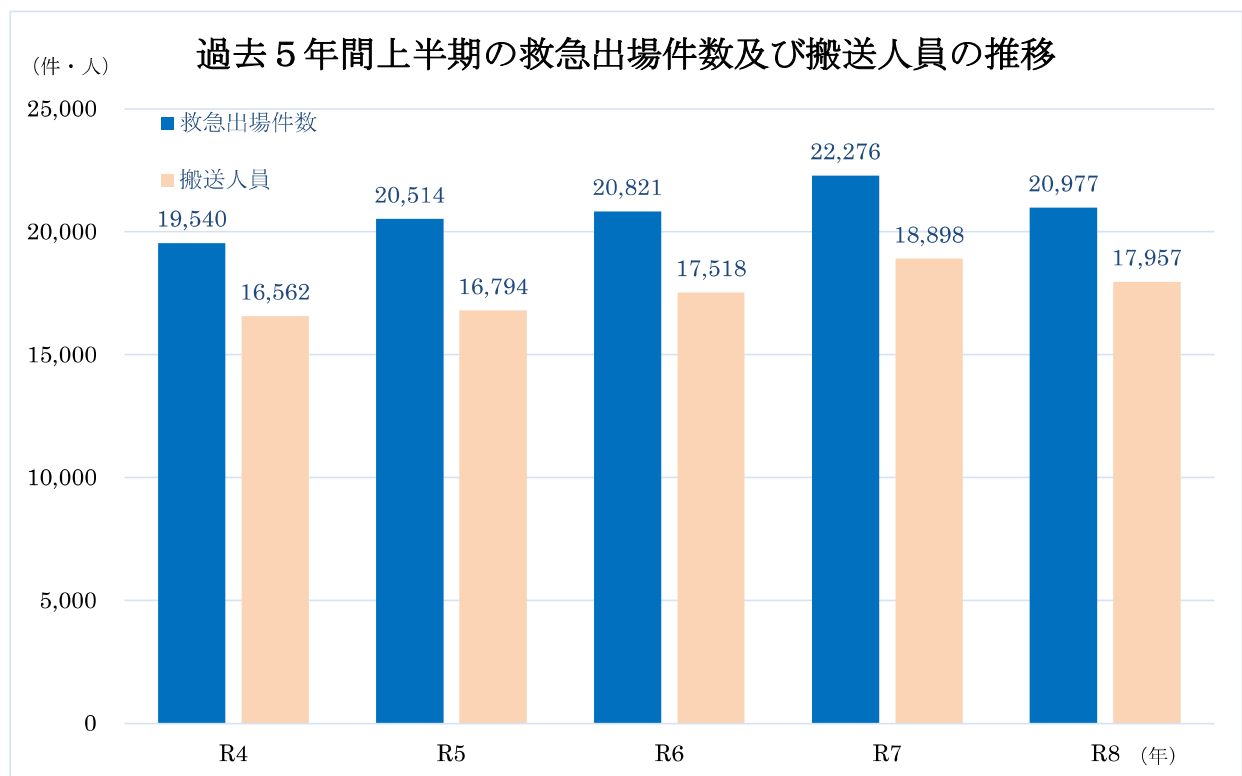
* 程度別の括弧内は、搬送人員に対する割合

3 年齢別搬送人員

年齢区分	令和 8 年上半期		令和 7 年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児（生後 28 日未満）	48	0.3%	40	0.2%	8	20.0%
乳幼児（生後 28 日以降から 7 歳未満）	772	4.3%	851	4.5%	△79	△9.3%
少年（7 歳から 18 歳未満）	716	4.0%	680	3.6%	36	5.3%
成人（18 歳から 65 歳未満）	5,861	32.6%	6,167	32.6%	△306	△5.0%
高齢者（65 歳以上）	10,560	58.8%	11,160	59.1%	△600	△5.4%
合計	17,957	100.0%	18,898	100.0%	△941	△5.0%

* 小数点第 2 位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。



4 救急車の適時・適切な利用

本市における上半期の救急出場件数及び搬送人員は、前年同期比では共に減少しましたが、過去5年間の推移では救急車の出場は、増加傾向となっています。

救える命を救うため、救急車を呼んだらよいか迷った場合や医療機関案内については、
かながわ救急相談センター（＃7119）に相談してください。また、医療機関案内に
ついては、相模原救急医療情報センターでも相談可能です。

「緊急ではない」「交通手段がない」などの場合は、相模原市消防局認定の患者等搬送事業者（有料）の利用も検討してください。

なお、「反応がない」「呼吸がない」など緊急を要する場合は、ためらわずに119番通報で救急車を要請してください。

（1）かながわ救急相談センター（＃7119）

【電話番号】

＃7119

※市外局番「042」の固定電話からかける場合は、次の番号におかけください。

045-232-7119若しくは、045-523-7119

【対応時間】

24時間365日対応可

（2）相模原救急医療情報センター

【電話番号】

042-756-9000

【対応時間】

平日：午後5時から翌朝9時まで

土曜日：午後1時から翌朝9時まで

日曜日・祝日等・年末年始：午前9時から翌朝9時まで

（3）かながわ小児救急ダイヤル

【電話番号】

＃8000もしくは、050-3490-3742

【対応時間】

毎日：午後6時から翌朝8時まで

～救急車や救急医療は**限りある資源**です～

救急出場件数は、年々増加傾向にあります。その半数は、入院を要さない軽症の方です。「**救える命**」を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

救急車の不適正利用例

